



社会福祉法人 龍鳳

平成 27 年度 事業報告書

2015 年 4 月～2016 年 3 月



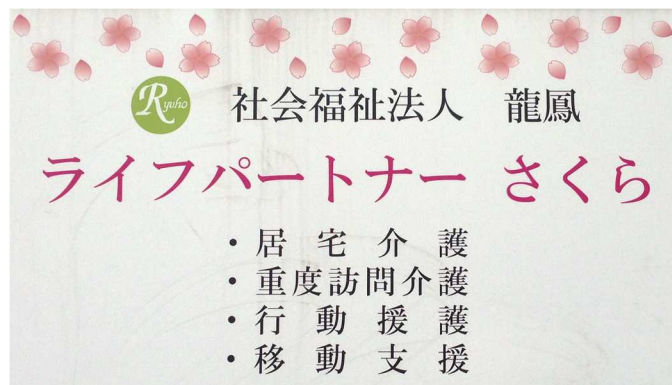
ライフパートナーこぶし

指定障害者支援施設 （生活介護事業、施設入所事業、短期入所事業、特定指定相談事業、就労継続支援<B型>事業）



たんぽぽ

障害福祉サービス事業 （就労継続支援<B型>事業、生活介護事業）



ライフパートナーさくら

障害福祉サービス事業 （居宅介護事業、移動支援事業）

ごあいさつ

理事長 田中 直久

理事、監事、評議員の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、平成 27 年度の決算を終えましたので、事業活動の概況をご報告申し上げます。

平成 27 年度は、清瀬事業所の開設に始まり、ご利用者の社会参加の機会を広げる場を提供できたことは大きな成果であったと思います。

また、職員の処遇改善にも引き続き努めて参りましたし、職員一人一人の力量を高める研修体制も整えて参りました。しかし、結果として職員の離職を止めることができなかつたことも事実で、そのために当初計画していた様々な取り組みも十分な成果をあげられない年でもありました。

その中でも、それぞれの事業所では「一人一人に応じた作業・活動の提供」に向けて、職員が創意工夫を重ね、ご利用者の方々には楽しく充実した時間を過ごしていただけたことと自負しています。

財務状況は、法人全体として概ね良好なものの、「清瀬事業所」の初年度に要した設備支出が大きかったことや人件費支出が予想以上に上回ってしまいました。「たんぼぼ」では、利用者の登録人数が減少したり、職員数を増やしたりしたために下半期の収支は減算傾向にあります。さらに、「ライフパートナーさくら」では、依然としてご利用者を増やすことができず、人件費が収入を上回り赤字状態が継続しています。

「ライフパートナーこぶし」では第三者評価を、「法人本部」として厚生労働省の監査を受けました。概ね良好との結果で、文書指摘事項はありませんでした。

改修工事や設備更新工事では、「ライフパートナーこぶし」の避難用滑り台の設置工事や業務用洗濯機の更新工事、ならびに八角堂扉の更新工事を行いました。

地域貢献事業として、施設ごとに自治会との連携を進め、防災協定や地域交流活動への参加などを進めて参りました。

今後も、安定したサービスが提供できるように職員の資質の向上、高齢化への対応、地域移行など更に障害サービスに努めてまいります。

理事、監事、評議員の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業報告

1、本部機能の充実

＜研修体系の充実＞

平成 27 年度の職能別研修は、平成 26 年度の内容を踏襲した。年度前半に退職者が続いたこともあり、年度後半から管理職に向けたリーダー研修を実施した。これは、障害者支援に関

する事ではなく、マネジメント力の向上を目指した、これまでには無い新たな取組を行った。

たんぼぼでは、職員全員参加の外部講師による「チームビルディング研修」を7回にわたり実施した。今回の研修については、費用の8割程度を助成金で賄った。今後も、こうした助成金を活用した研修にも力をいれていきたい。

また、年度途中で入職した職員に対する、初任者研修も実施した。これにより、現場での実践の前に法人のことや障害者支援の基本を学べ、その後の勤務体制の安定に繋がった。

＜処遇改善の取り組み＞

① ほぼ全員の昇給を継続

一昨年度よりの昇給を今年度も継続して行った。月給者では、基本月額を3,000円から7,000円の増額。時給者では、10円から50円の増額を行った。再雇用職員および嘱託職員についても昇給をおこない、最低時給額を950円とした。

② 正規職員給与規程の改訂作業と給与規程運用細則の整備作業

給与水準を公務員に近づけるため、これまでの給料表を全面改訂し、職級を3段階から5段階に細分化したり、大卒初任給を大幅に増額したり、住居手当の資格要件を若者やひとり親世帯に傾けた支給にした。(施行は、平成28年4月)

＜新規事業へのアプローチ＞

職員数が減少したこともあり、特に新規事業への取り組みは行っていない。

＜虐待防止への取り組み＞

山口県の障害者福祉施設や川崎市の老人福祉施設で起きた虐待事件を受け、中途入職者に対し入職時に虐待予防の研修を行った。

また、各事業所において年3回の権利擁護月間を設け、人権意識向上を図った。人権擁護プロジェクトを中心として、法人内共通の権利擁護マニュアルを作成する計画であったが、平成28年度へ積み残しとなった。

＜職員職場意識調査＞

平成27年度は6月から10月にかけて離職職員が多くなった。その後、「職員職場意識調査」を行った結果、職員一人一人が「働きやすい職場をどのようにつくるか」を大いに意識するようになってきていることが分かった。「東京ナンバー1の施設にする」「座談会を開く」など職員から組織を活性化するアイデアが多く出され、実践に移している。

2、 人事配置

<入職者 と 離職者>

	こぶし	たんぽぽ	さくら	本部	合計
入職者	16名	2名	0名	0名	18名
退職者	9名	2名	0名	0名	12名
増減	+7名	±0名	±0	±0	+7名

※こぶしでは、年度前半に支援者の退職者が続き、勤務体制に大きな影響が出た。後半に徐々に中途入職者を確保し、年度末の時点で、概ね年度初めの人員体制まで持ち直した。最終+7名の増員は、主に清瀬事業所の増員と看護体制充実の為に看護師の増員による。

<法人内異動>

12月 生活支援員 こぶし から たんぽぽ へ異動

3、 ライフパートナーこぶし

① 職員状況

前述の通り、年度前半に支援者の退職が続いたが、年度末に年度当初の状態に持ち直した。離職については、経営層と現場職員とのコミュニケーション不足も大きな要因であると反省している。

☆年度末職員数 38名

施設長・1 サービス管理責任者・1 相談支援専門員・1 支援員・27（男性9 女性18）
作業療法士・1 栄養士・1 看護師・2 事務・2 営繕・整備・2

② 利用者状況

○ 入退所状況

	入所者	退所者
4月	○清瀬事業所 男性1名・女性2名 ○入所一女性1名	年間を通して、退所者なし
	以降、入所者なし	
合計	男性1名・女性3名・計4名	0名

※清瀬事業所の開設に伴い、新規利用を3名受入した。入所利用者は、平成27年3月退所された空床分。それ以外の入退所は無し。

☆年度末利用者数

	入所	生活介護	就労B型
定員	30名	35名	10名
利用者数	30名	40名	7名

○ 健康状況

持病による尋常性乾癬及び蜂窩織炎で1名、施設内の転倒による左大腿骨頸部骨折で1名、入院した。現在、2名とも施設に戻り、通常の生活を送っている。

その他、インフルエンザ罹患者も出ず、概ね健康上の問題は無かった。

健康支援や高齢化対応向上の為、10月より看護師を2名体制とした。1名は、主に休日等に勤務してもらうことにより、日々看護師が勤務している体制となり、医療的支援が充実した。

○ 利用稼働率

事業名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
施設入所	97.3%	96.4%	95.8%	94.4%
生活介護	98.2%	94.6%	96.7%	95.6%
就労B型				73.4%
短期入所	51.9%	56.4%	73.7%	60.1%

※施設入所・生活介護の低下は、上記2名の入院分が起因している。短期入所の低下については、職員離職に伴い体制が整うまで、男性利用を一時中断していたことによる。

③ 平成27年度努力・成果指標に対する評価

(ア) サービスの質の向上

- ・新個別支援計画による活動提供により、内容の充実及び拡大が図れた
- ・新規開設の清瀬事業所は、喫茶業務及び受注業務など利用者に対する支援体制を構築した
- ・相談支援事業報酬対比 前年比 125.7%

(イ) サービス提供職員の資質向上

- ・前半退職者が続いたが、それを契機に若手職員を中心に、自分たちの職場は自分たちで良くしていこうという気運が高まった。下半期、退職者は無し
- ・中途入職者の新任研修・リーダー研修など新規の研修に取り組んだ

(ウ) サービス提供環境の改善

- ・ひやりほっと報告書の積極的提出を促したが、提出増には繋がらなかった
- ・2階の高齢女性利用者の避難路を確保するため、避難用滑り台を設置

4、 たんぽぽ

① 職員状況（平成28年3月31日現在）

入退職職員		異動職員	
入職	退職	転入	転出
女性 1 名	女性 1 名	男性 1 名 (←こぶし)	
男性 1 名 →	男性 1 名		
合計 2 名	2 名	1 名	0 名
たんぼぼ 職員合計 15 名			

平成 27 年度末までの職員増減は上記合計の通りで、最終的に 1 名増となった。
 入退職者のうち男性は約 4 ヶ月で自主退職。経験者ながら、施設業務に馴染めず退職した。
 支援職員については、職員間の中間層と新人層が日々打ち合わせながら、利用者の状況に合わせて新しい支援方法や環境作りなどに積極的に取り組んだ。

② 利用者状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	入所者	退所者 又は 移行	内容
9 月	女性 1 名 (生介) ←	女性 1 名 (就 B)	同施設内で移行
10 月	女性 1 名 (生介)		こぶし利用者の通所
1 月	男性 1 名 (就 B)		自宅から通所
	男性 1 名 (就 B)		自宅から通所
3 月		男性 1 名 (就 B)	他入所施設へ移行
		男性 1 名 (就 B)	自宅
合計	女性 2 名 男性 2 名	女性 1 名 男性 2 名	
たんぼぼ 利用者合計 29 名 (就 B 25 名、生介 4 名)			

利用者数増減は上記合計の通りで、年度当初 28 名から最終的に 1 名増となった。
 高齢化と運動機能低下などに伴って、マンツーマン対応となるケースが急増したため、職員を増員した。

自宅通所者については、家族の健康不良や高齢化なども顕著化しており、グループホーム移行や成年後見人制度など、行政・民間各機関と協力して早期に促していく必要がある。

③ 利用稼働率

事業名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
就労継続支援 B 型	82.7%	68.8%	63.7%	62.6%
生活介護	——	41.2%	36.2%	31.5%

昨年同様、登録はあるが通所日数が少なかったり長期休所されたりする利用者が多い。
 送迎による通所の利用者も体力低下や体調不良が原因で休みがちになってきている。

今後さらに、個別ニーズに応じた作業や生活訓練などの充実と実態に即した工賃体系とし、利用者が通所したくなる施設を目指していく。

④ 平成 27 年度努力・成果指標に対する評価

【利用者へのサービス向上】

- ・アセスメントシート及び個別支援計画を見直し

【作業内容及び職員の資質向上】

- ・風通しの良い、働きやすい職場作りの実践
- ・自主生産品の販路拡大
- ・生活介護の新規プログラム・機能トレーニング等の充実
- ・チームとして信頼・協力・感謝するためのチームビルディング研修の実施

【社会参加と地域貢献の活性化】

- ・地域交流を兼ねた情報収集
- ・練馬社協主催の地域貢献検討会の参加

5、 ライフパートナーさくら

① 職員状況

管理者兼サービス提供者 1 名・常勤支援員 2 名

② 利用者状況（H27 期末）

- ・居宅介護利用者（2 名）
- ・重度訪問介護利用者（1 名）
- ・移動支援利用者（6 名）

③ 全体総括

固定的にサービスする顧客も2名ほど増えたが、既存利用者のサービス量の減少があり、収入実績は前年の85.0%であった。

評議員会・理事会開催報告

平成27年5月24日（日） 第1回 評議員会 および 理事会

第1号議案

「評議員の選考について」（理事会のみの議題）

第2号議案

「平成26年度 事業報告」の承認

第3号議案

「平成26年度 決算報告」の承認

【監事監査報告】

<その他報告事項>

- （1）平成26年度ライフパートナーこぶし 東京都監査指摘事項と結果報告

平成27年8月30日（日）第2回 評議員会 および 理事会

<報告事項>

- ①第一四半期 財務状況
- ②社会福祉法の改正案
- ③これまでにこなわれた地域貢献活動
- ④基本財産増、誤植訂正の定款変更申請 一部訂正と提出完了報告
- ⑤こぶし 修繕計画の策定進捗

<審議事項>

第1号議案

マイナンバー制度に伴う「雇用管理情報に関するプライバシーポリシー」の改訂について
第2号議案 (理事会のみの議題)

評議員の交代および次期評議員の承認について

<理事長の専決事項 報告>

- ① 本部 チームビルディング研修実施及び業者
- ② 清瀬 ノア(中古車)の購入
- ③ こぶし 健康診断
- ④ こぶし 業務用洗濯機購入
- ⑤ こぶし エレベーター安全装置取り付け
- ⑥ こぶし 避難用滑り台設置工事
- ⑦ こぶし 八角堂扉交換工事

平成27年12月6日(日) 第3回 評議員会

第1号議案

次期理事・監事の承認

<報告事項> (以下、理事会・評議員会共通)

- ①第2四半期 財務状況
- ②定款 受付終了報告
- ③こぶし滑り台設置完了の報告
- ④給与システム導入の報告
- ⑤第三者委員の任期延長の報告
- ⑥こぶし修繕計画の策定進捗

<審議事項>

第2号議案

平成27年度第1回補正予算

第3号議案

たんぼぼ運営規程の改訂について

第4号議案

正規職員就業規則の改訂について

第5号議案

正規職員給与規程の改訂について

第6号議案

人事考課規程の改訂 および 人事考課細則の策定について

<報告事項>

モラルサーベイ調査 結果報告

平成27年12月6日(日) 第3回 理事会 議案

<審議事項>

第1号議案

評議員辞任と新評議員の承認

(上記評議員会第2号議案以降と同じ)

平成27年12月23日(水) 第4回理事会 議案

<審議事項>

第1号議案

理事長の選出と承認について

第2号議案

理事長の職務代理者の選任について

平成28年3月13日(日) 第4回 評議員会 および 第5回 理事会

<報告事項>

① 1月までの経営状況の概要

② 社会福祉法人改革の動向について

<審議事項>

第1号議案

平成27年度補正予算について

第2号議案

平成28年度経営計画について

第3号議案

平成28年度当初予算について

第4号議案

正規職員就業規則の改訂について

第5号議案

給与規程運用細則の策定について

第 6 号議案

人事考課規程運用細則の策定について

第 7 号議案

経理規程の改訂について

第 8 号議案

新規事業および修繕・改修費用積立金管理運用規程の策定について

第 9 号議案

にいざ会計区分 苅部理事より借り入れを行うことについて

第 10 号議案

「ライフパートナーさくら」の経営悪化について

第 11 号議案

たんぼぼ給食業者の選定について

第 12 号議案

「ライフパートナーこぶし」の財産処分（転用）について

<報告事項>

○平成 27 年度 職員表彰 結果

○平成 27 年度 厚労省指導監査結果報告

○第三者委員の委嘱 報告

財務の概要

1 福祉サービス活動の収支

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
収入	293 百万円	321 百万円	329 百万円	332 百万円	341 百万円
支出	215 百万円	232 百万円	250 百万円	241 百万円	267 百万円
収支差額	78 百万円	89 百万円	79 百万円	91 百万円	74 百万円

※ 収入：自立支援費、補助金

※ 支出：人件費、事務費、事業費

寄付金収入 83 万円

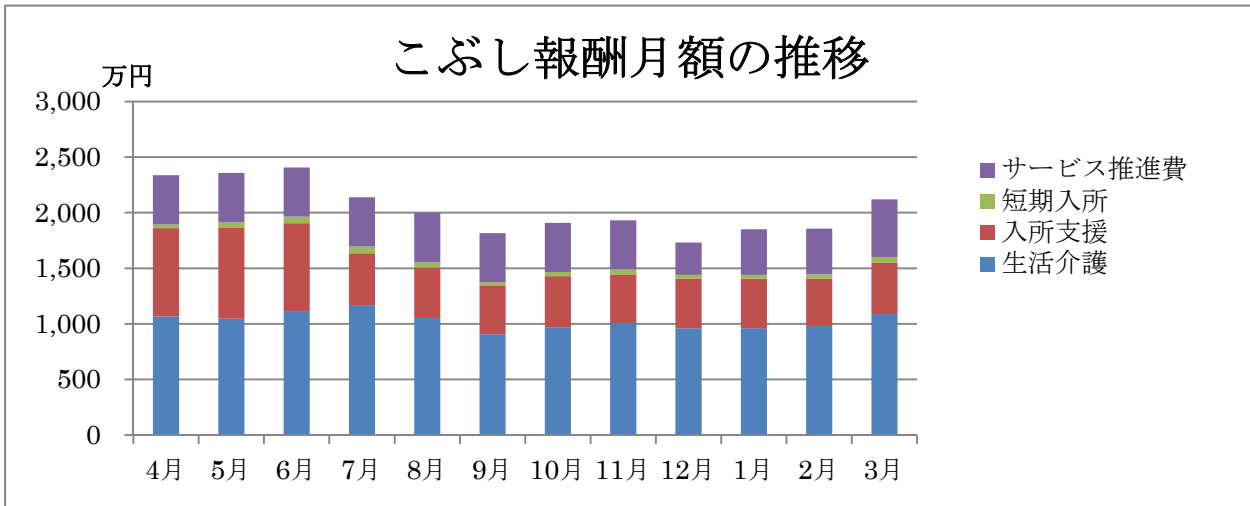
2 現金預金残高

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
全体額	171 百万円	218 百万円	291 百万円	299 百万円	361 百万円
本 部	27 百万円	31 百万円	87 百万円	73 百万円	109 百万円
こぶし	123 百万円	156 百万円	172 百万円	191 百万円	219 百万円
たんぽぽ	21 百万円	30 百万円	32 百万円	35 百万円	32 百万円
さくら				41 万円	52 万円

※日常の運営費、小口現金以外は、可能な限り定期預金に貯入している。

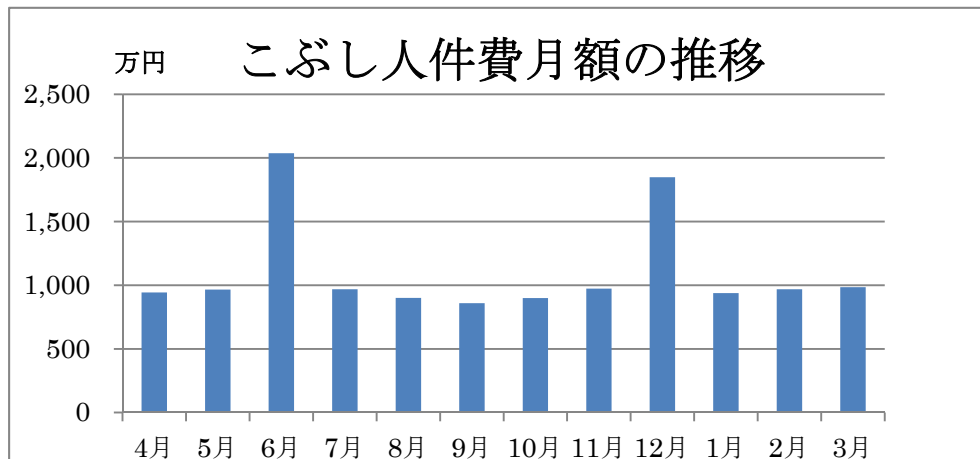
3 各施設の報酬額と人件費の推移

(1) ライフパートナーこぶし



基本の収入となる「報酬とサービス推進費の合計額」の推移

7月以降、収入が減っているのは、離職者のため人員配置が下がったことによる。

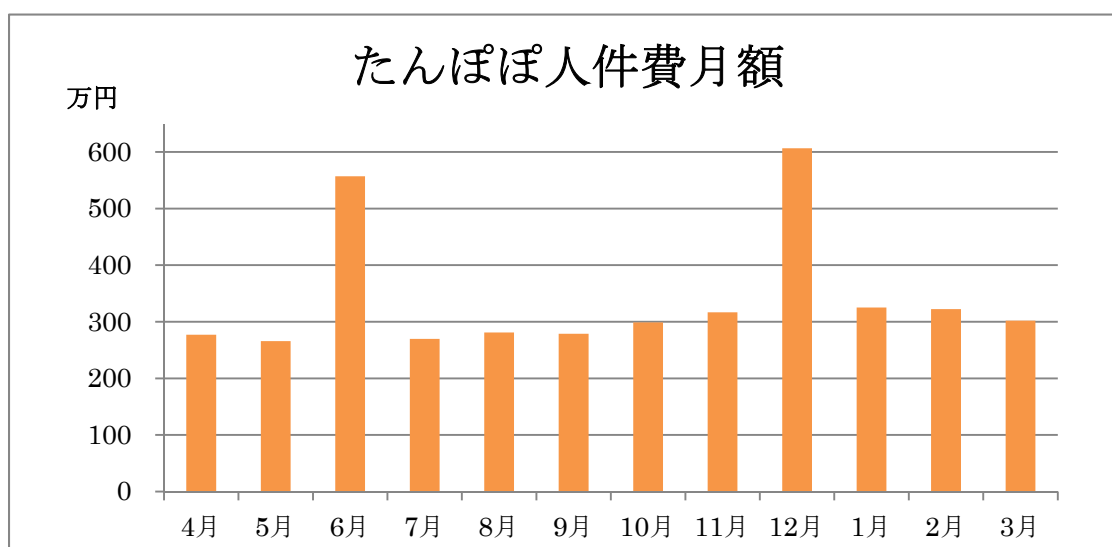
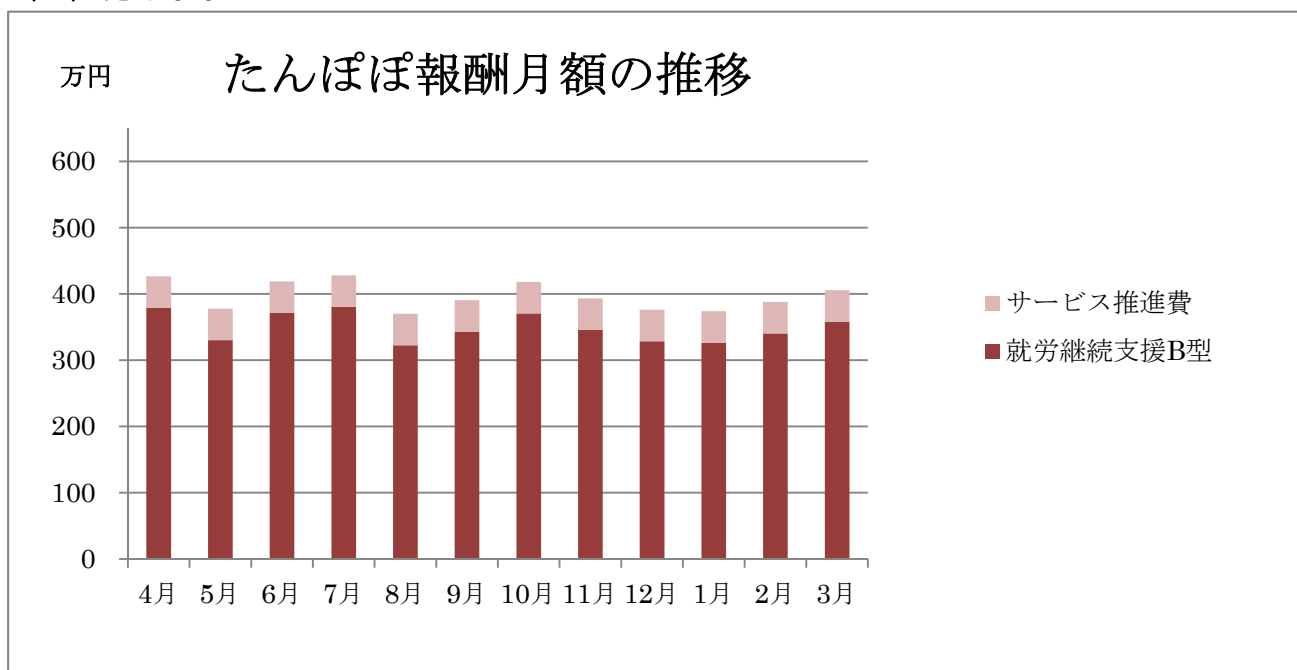


人件費の推移

6月と12月は、賞与と勤勉手当の支出があり突出している。8月9月10月は、職員数の減少により支出も減少している。11月以降は職員数が回復してきているため、人件費も上向きである。

こぶし 主な収入に対する人件費比率	
年間の主な収入	約2億5千5百万円
年間の人件費支出	約1億3千3百万円
人件費比率	52%

(2) たんぽぽ



求人するも応募者がなく、人員配置不足の傾向が続いてきた。

たんぽぽ 主な収入に対する人件費比率	
年間の主な収入	約5千2百万円

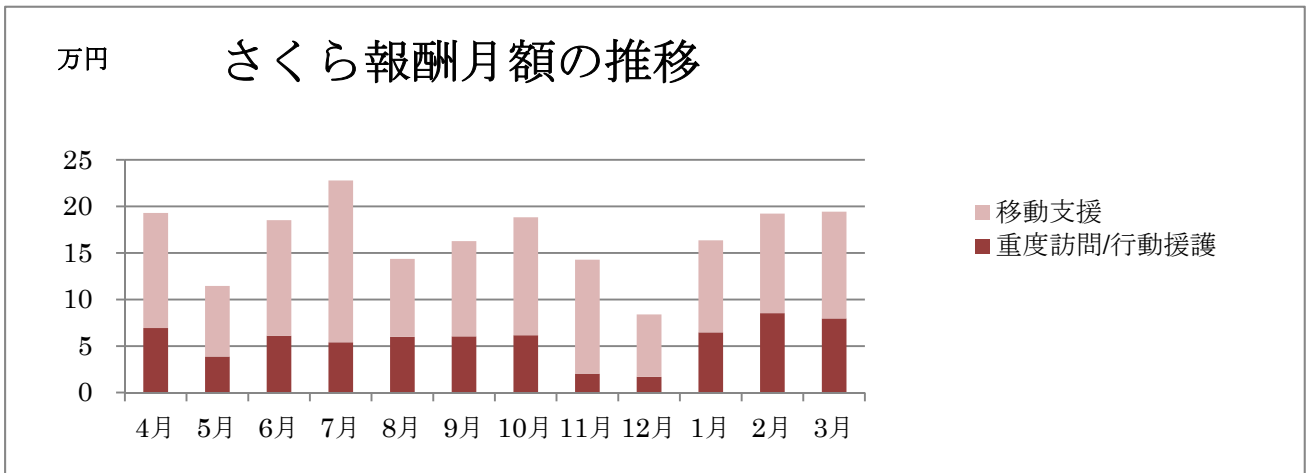
年間の人件費支出	約 4 千 1 百万円
人件費比率	79%

(3) さくら

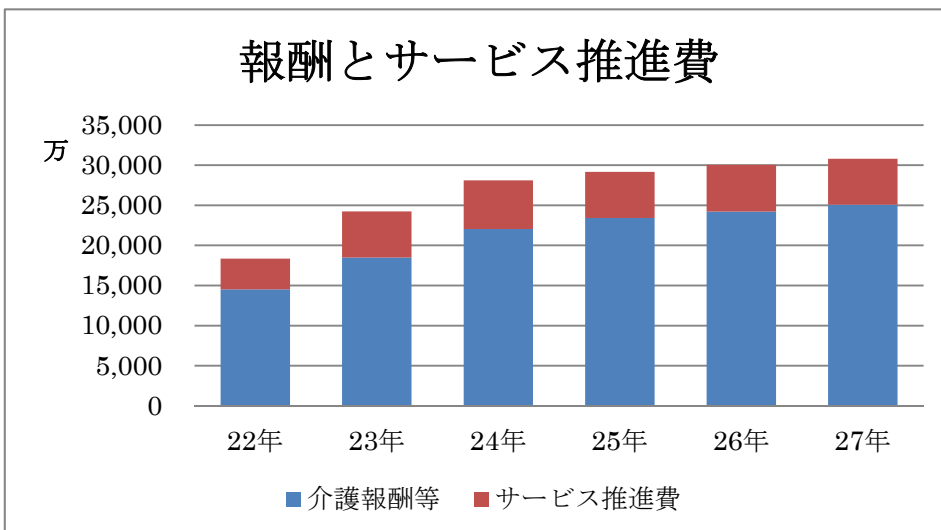
さくら 主な収入に対する人件費比率	
年間の主な収入	約 242 万円
年間の人件費支出	約 334 万円
人件費比率	138%

収入は昨年の62万円より大幅に増加。人件費比率も改善。

(4) 法人全体の主な収入と人件費 事業活動収支差額の推移

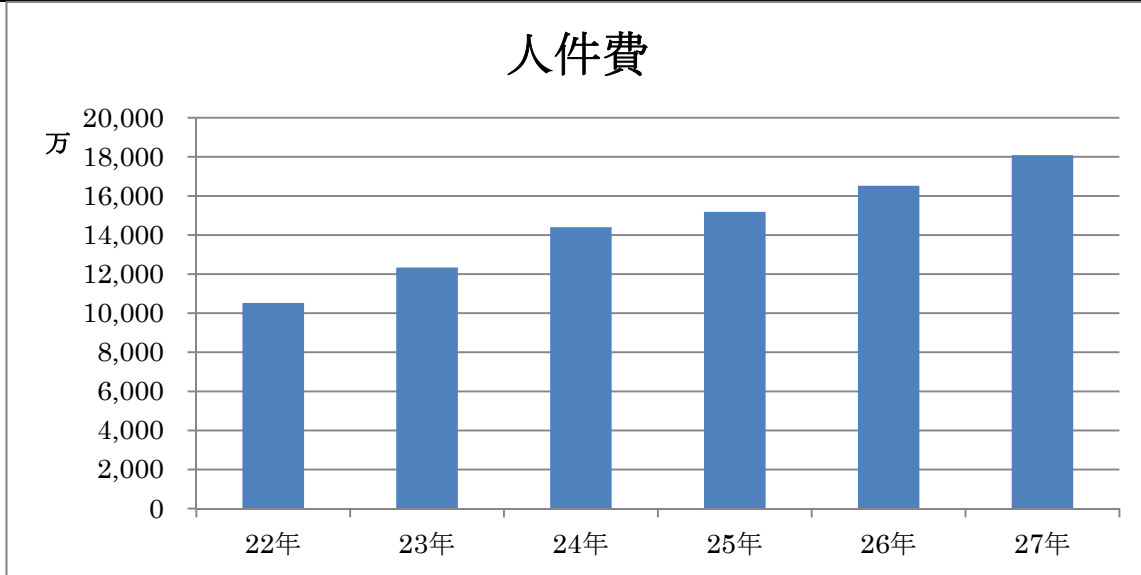


報酬	22年	23年	24年	25年	26年	27年
介護報酬等	145	184	220	235	242	251
サービス推進費	38	57	60	58	58	57
合計	183	242	281	294	300	308



人件費 (百万円)

	22年	23年	24年	25年	26年	27年
年額	105	123	144	151	165	181
比率	57.38%	50.90%	51.24%	52.05%	55.02%	58.71%



事業活動収支差額 (百万円)

	22年	23年	24年	25年	26年	27年
年額	36	79	79	80	85	74

人件費以外の主な支出

こぶし 避難用滑り台設置工事	こぶし エレベータードアセンサー取り付け工事
こぶし 大型洗濯機更新工事	こぶし 八角堂扉交換工事
こぶし 車両購入	

本部の事業活動 と 処遇改善要件の整備

平成 27 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修 ・昇給（ほぼ全職員）
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課 当初申告面接実施 ・監事監査 ・各調査回答 数件 ・理事会評議員会開催準備 ・第 1 回 理事会・評議員会の開催
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・現況調査等、各種調査への回答作業
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員登用選考 ・昇任選考
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回 理事会・評議員会の開催
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課 中間申告面接実施 上半期業績評価 ・正規職員給与規程改訂作業
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・給与システム導入の検討 ・モラルサーベイ実施
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員登用選考 ・昇任選考 ・理事会評議員会開催準備
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 回 理事会・評議員会の開催 ・第 4 回 理事会の開催
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・給与システム導入
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課 最終申告面接実施 下半期業績評価 ・理事会評議員会開催準備 ・東京都実地検査（ライフパートナーこぶし） ・給与規程運用細則策定作業 ・就業規則の改訂作業 ・経理規程の改訂作業 ・人事考課規程運用細則の改訂作業
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 回 評議員会の開催 ・第 5 回 理事会の開催